

値下げラベル発行プログラム
For
MODEL 8061 Bluetooth 搭載ハンディターミナル

サポートプリンタ

サトー社	PT200e Bluetooth 搭載モバイルプリンタ (ブチラパン)
東北リコー社	MP2200BT Bluetooth 搭載モバイルプリンタ
ゼブラ社	QL220 Bluetooth 搭載モバイルプリンタ

改訂記録	
改訂番号	改訂日
Rev.1.0	May. 2005 （初版）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。3. 本書内に記載されている製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。5. 運用した結果の影響について、2.項にかかわらず責任を一切負いかねます。 |
|--|

目 次

1.	はじめに	5
2.	プログラムファイルをダウンロードする	6
3.	プリンタとペアリングする	9
4.	価格桁数を設定する	10
5.	値下げラベルを発行する	11
6.	バーコードチェッカ	14
7.	ラベルサンプル	15
8.	トラブルシューティング	16

Blank page

1. はじめに

値下げハール発行プログラムは、MODEL 8061 Bluetooth 搭載ハンディターミナル(以下、8061)で動作するサンプルプログラムです。各EANコードに対応したプログラムファイルを 8061 にダウンロードして、ご使用下さい。

下記に値下げハール発行プログラムの特徴を列挙します。

- サトー社、ゼブラ社、東北リー社の Bluetooth 搭載EANコードに対応
- xx%引き、xx 円引き、値下げ後の 3 種類の印刷フォーマットに対応
- 価格を 4 桁又は 5 桁に設定可能
- プレ印刷ハール紙 W49mm x H32mm を用意

L-DT049032X-NSG1



L-DT049032X-NSG2



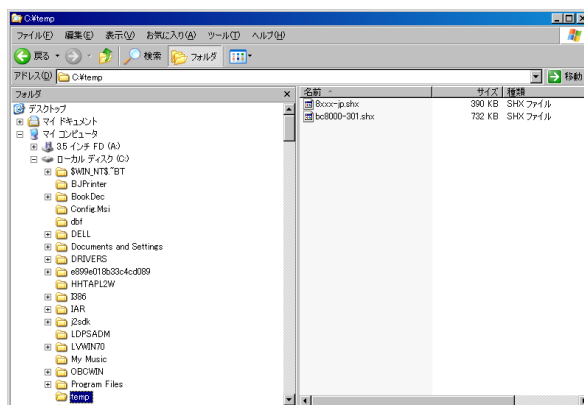
(*) ソフトのカスタマイズやカスタムハール作成など、お気軽に弊社担当までご相談下さい。

2. プログラムファイルをダウンロードする

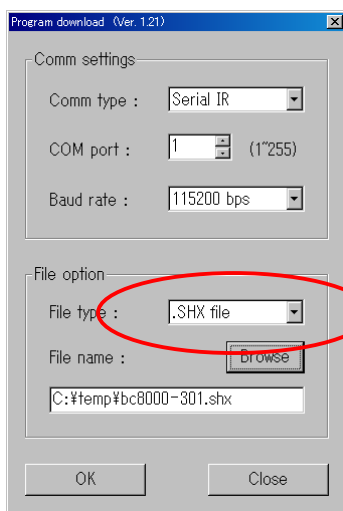
値下げパネル発行プログラムを実行する場合、事前に BASIC ラuntimeエンジンと日本語フォントファイル(16ドット)が 8061 に正しくダウンロードされている必要があります。既にダウンロードされている場合は、次へ進んでください。7 と 9 を押しながら 8061 の電源を立ち上げ、システムメニューから「1 Information」で BASIC ラuntimeエンジン、及び「2.Setting」「7 Next Page」「2 Font」でフォントファイルの確認を行うことが可能です。

BASIC ラuntimeエンジン/フォントファイルのダウンロード

1. 最新の BASIC ラuntimeエンジンとフォントファイル¹を任意のフォルダにコピーします。この例では、C:\temp に bc8000-301.shx(V3.01 ラuntimeエンジン)と 8xxx-jp.shx(フォントファイル)をコピーしています。



2. 7 と 9 を押しながら 8061 の電源を立ち上げ、システムメニューから「6 Load Program」「1 Load C Program」²「1 Cradle-IR」「1 115200」を選択し、CRDL-8001 クレドールにセットします。
3. PC 側でプログラムダウンロードユーティリティ progload.exe³を立ち上げ、「Com Type」、「COM Port」、「Baud rate」... の設定を正しく行い、「Browse」ボタンをクリックして BASIC ラuntimeファイルを選択し、最後に OK ボタンをクリックして、ダウンロードを開始します。

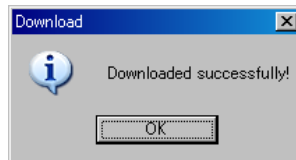


¹ 最新のラuntimeエンジン及びフォントファイルは、弊社 HP より入手可能です。

² BASIC ラuntimeエンジンがダウンロードされていない場合は、表示されません。

³ プログラムダウンロードユーティリティ progload.exe は、弊社 HP より入手可能です。

- ダウンロードが完了すれば、8061 の ENT キーを押し、「1 Cradle-IR」「1 115200」を選択し、CRDL-8001 クレードルにセットします。
- PC 側でプログラムダウンロード Utility progload.exe を立ち上げ、「Com Type」、「COM Port」、「Baud rate」... の設定を正しく行い、「Browse」ボタンをクリックしてフォントファイルを選択し、最後に OK ボタンをクリックして、ダウンロードを開始します。
- 下記のメッセージが表示されれば、ダウンロード完了です。値下げパネル発行プログラムのダウンロードに進んでください。



値下げパネル発行プログラムのダウンロード

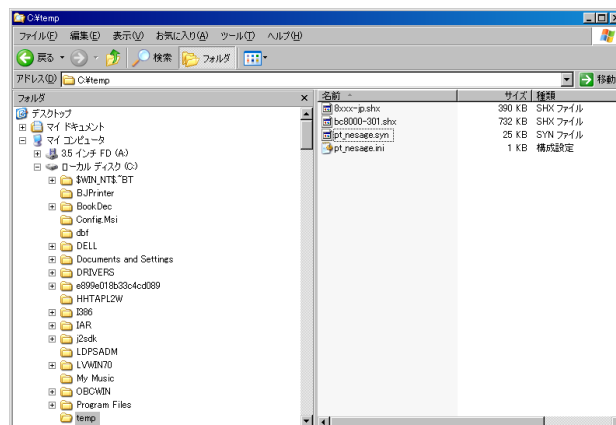
下記の手順に従って、各社 EPL 用プリンタに対応したプログラムファイルを 8061 にダウンロードします。

- ご使用になる EPL 用プリンタに対応したプログラムファイルを任意のフォルダにコピーします。

プログラム対応表

サト社 PT200e	pt_nesage.syn, pt_nesage.ini の 2 ファイル
ゼブラ社 QL220	ql_nesage.syn, ql_nesage.ini の 2 ファイル
東北リコ社 MP2200BT	mp_nesage.syn, mp_nesage.ini の 2 ファイル

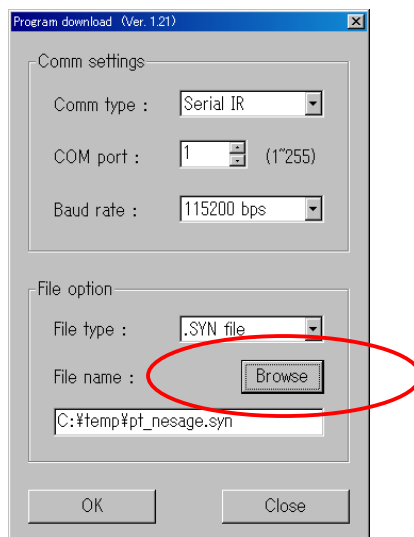
ここでは例として、サト社 PT200e 用のファイルを c:\temp にコピーしています。



- 7 と 9 を押しながら 8061 の電源を立ち上げ、システムメニューから「6 Load Program」「2 Load BASIC」⁴「1 Cradle-IR」「1 115200」を選択し、CRDL-8001 クレードルにセットします。

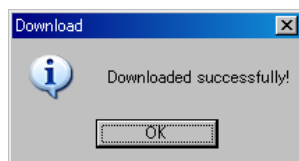
⁴ BASIC ランタイムエンジンがダウンロードされていない場合は、表示されません。

3. PC 側でプログラムダウンロードユーティリティ progload.exe⁵を立ち上げ、「Com Type」、「COM Port」、「Baud rate」... の設定を正しく行い、「Browse」ボタンをクリックしてプログラムファイルを選択し、最後に OK ボタンをクリックして、ダウンロードを開始します。



4. 下記のメッセージが表示されれば、ダウンロード完了です。

PC 側



8061 側

```
=====
New Program
[ESC] Clear File
[Other] Skip
=====
```

ESC キーを押し、ファイルを初期化して、値下げパネル発行プログラムを立ち上げます。

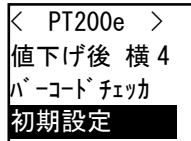
⁵ プログラムダウンロードユーティリティ progload.exe は、弊社 HP より入手可能です。

3. プリンタとペアリングする

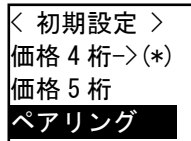
Bluetoothデバイスを運用する場合、最初に「ペアリング」という作業を行い8061とモバイルプリンタとの間で接続を確立させておく必要があります。下記の手順に従って、「ペアリング」を行ってください。

ペアリングを行う

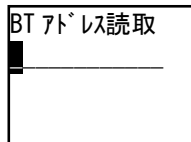
1. 値下げバーコード発行プログラムのメインメニューから「初期設定」を選択します。サ-社の PT200e 用プログラムを元に例を示しています。



2. 続いて、初期設定メニューから「ペアリング」を選択します。



3. BTアドレス読取というプロンプトが表示されるので、接続を確立したいプリンタのBTアドレス(デバイスアドレス/MAC アドレス)を入力します。キーボードから入力することもできますし、バーコードを読み取って入力することも可能です。



(参考)

サ-社 PT200e

FEED キーを押しながら電源を投入すると、テスト印字が行われます。テスト印字の「BD add」という項目にある値がBTアドレスです。

ゼブラ社 QL220

FEED キーを押しながら電源を投入すると、テスト印字が行われます。テスト印字の「Bluetooth.address」という項目にある値がBTアドレスです。また、その下にBTアドレスがバーコード印刷されるので、それを読み取ることも可能です。

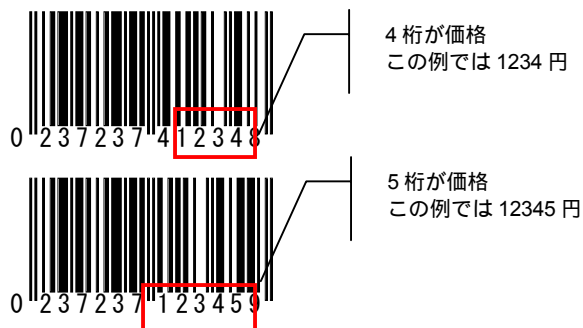
東北リ-社 MP2200BT

再発行キーを押しながら電源を投入すると、テスト印字が行われます。テスト印字の「BD Addr」という項目にある値がBTアドレスです。また、その下にBTアドレスがバーコード印刷されるので、それを読み取ることも可能です。

4. BTアドレスが入力されると、8061は「ペアリング」試行し、その結果を表示します。「ペアリング」に失敗した場合は、エラーブ-プ音と「リトライ シュル? 1/0」というメッセージが表示されます。再試行する場合は1を、それ以外は0を入力してください。

4. 価格桁数を設定する

値下げバーコード発行プログラムでは、商品に既に貼付されているバーコードを読み取り、そのデータを元に値下げ後の価格をエンコードしたバーコードを発行します。ここでは、商品に貼付されているバーコードで価格を表現するために何桁使用しているかを設定します。



価格桁の設定

1. 値下げバーコード発行プログラムのメインメニューから「初期設定」を選択します。サ-社の PT200e 用プログラムを元に例を示しています。



2. 続いて、初期設定メニューから設定したい価格桁数を選択します。



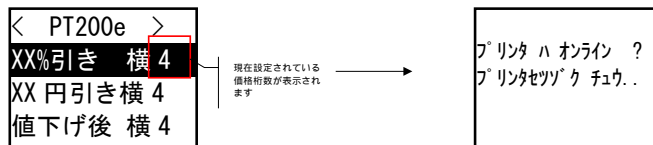
5. 値下げラベルを発行する

値下げラベル発行プログラムでは、下記の4種類の値下げラベル発行が行えます。

- XX%引きラベル 値引き率(%)を入力して、ラベルを発行
- XX円引きラベル 値引き額(円)を入力して、ラベルを発行
- 値下げ後ラベル 値下げ後の価格を入力して、ラベルを発行

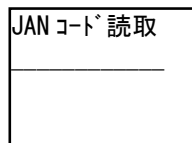
XX%引きラベルを発行する

1. 値下げラベル発行プログラムのメインメニューから「XX%引き」を選択します。サ-社の PT200e 用プログラムを元に例を示しています。

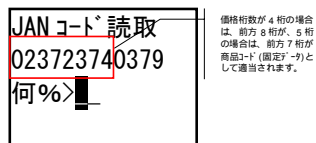


プリンタセツク チュウ.. というメッセージが表示されます。目的のプリンタをオンライン状態にしてください。接続が完了すると、次の入力に移ります。うまく接続できない場合は、「3.プリンタとペアリングする」を参照して、正しくペアリングを行ってください。

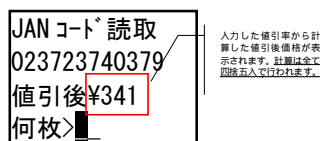
2. まず、ラベルを発行したい商品に貼付されている JAN コード (13 桁)を読み取ります。ここでいう JAN コードは各企業が登録している流通コードではなく、4 桁又は 5 桁の価格情報を含む商品データをエンコードしたインスタコードを指します。



3. 続いて、値引き率(%)を 1~99 の範囲で入力します。



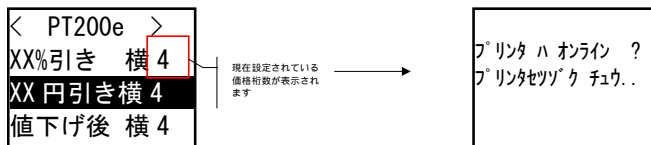
4. 最後に、印刷したいラベル枚数を 1~99 の範囲で入力します。何も入力せずに ENT キーを押した場合、デフォルトで 1 が適用されます。



ラベルが正しく印刷されれば OK です。2~4 の作業を繰り返し行って下さい。

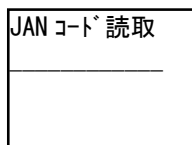
XX 円引きラベルを発行する

1. 値下げラベル発行プログラムのメインメニューから「XX 円引き」を選択します。サ-社の PT200e 用プログラムを元に例を示しています。

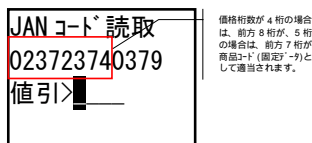


プリンタセツクチュウ.. というメッセージが表示されます。目的のプリンタをオンライン状態にしてください。接続が完了すると、次の入力に移ります。うまく接続できない場合は、「3. プリンタとペアリングする」を参照して、正しくペアリングを行ってください。

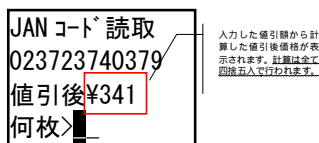
2. まず、ラベルを発行したい商品に貼付されている JAN コード (13 桁) を読み取ります。ここでいう JAN コードは各企業が登録している流通コードではなく、4 桁又は 5 桁の価格情報を含む商品データをエンコードしたインスタコードを指します。



3. 続いて、値引き額(円)を 1~9999(5 桁の場合は、1~99999)の範囲で入力します。



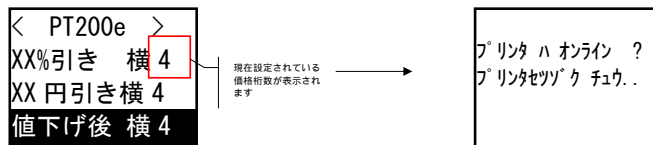
4. 最後に、印刷したいラベル枚数を 1~99 の範囲で入力します。何も入力せずに ENT キ-を押した場合、デフォルトで 1 が適用されます。



ラベルが正しく印刷されれば OK です。2~4 の作業を繰り返し行って下さい。

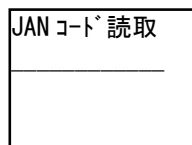
値下げハルを発行する

1. 値下げハル発行プログラムのメインメニューから「値下げ後」を選択します。サ-社の PT200e 用プログラムを元に例を示しています。

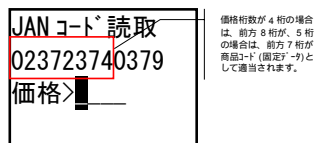


プリンタセツク チュウ.. というメッセージが表示されます。目的のプリンタをオンライン状態にして下さい。接続が完了すると、次の入力に移ります。うまく接続できない場合は、「3. プリントとペ-リングする」を参照して、正しくペ-リングを行ってください。

2. まず、ハルを発行したい商品に貼付されている JAN コード (13 桁) を読み取ります。ここでいう JAN コードは各企業が登録している流通コードではなく、4 桁又は 5 桁の価格情報を含む商品データをエンコードしたイストコードを指します。



3. 続いて、値引き後の価格(円)を 1~9999 (5 桁の場合は、1~99999) の範囲で入力します。



4. 最後に、印刷したいハル枚数を 1~99 の範囲で入力します。何も入力せずに ENT キ-を押した場合、デフォルトで 1 が適用されます。



ハルが正しく印刷できれば OK です。2~4 の作業を繰り返して行って下さい。

6. バーコードチェッカ

値下げバーコード発行プログラムのメインメニューから「バーコードチェッカ」を選択すると、読み取ったバーコード種、桁数を表示するバーコードチェッカモードとなります。印刷したバーコードが正しく読み取れるかのチェックなどにご利用下さい。

< PT200e >
値下げ後 横 4
バーコードチェッカ
初期設定

現在設定されている
価格桁数が表示され
ます

@BCR チェッカー@
EAN13/JAN13
13 桁
023723740379
7

7. ラベルサンプル

下記に各プリンタで発行したラベルサンプルを掲載します。プリンタによりフォントや特性が異なるため、用途に応じた機種ご利用ください。

東北印-社 MP2200BT



サ-社 PT200e



セ-ラ社 QL220



東北印-社 MP2200BT



サ-社 PT200e



セ-ラ社 QL220



8. トラブルシューティング

- ④ プリンタと接続できない
 ケーブルは正しく行われていますか？
 プリンタのバッテリーは十分ですか？
 プリンタの電源はわですか？
- ④ ラベルが印字できない
 ロール紙は正しくセットされていますか？
 プリンタはオンライン状態になっていますか？
 プリンタのラベル設定は正しく行われていますか？
 各プリンタでラベルサイズ、センサー方式の設定を別途行う必要がある場合があります。
 この設定が間違っていると、フィードがうまくできなかったり、プリンタ側でエラーが発生する場合があります。設定方法については、各プリンタの取扱説明書を参照下さい。

サト-社 PT200e

専用の設定ツールを使って、ラベルサイズやセンサー種の設定を正しく行ってください。

基本動作設定

印字速度: 75 (mm/s) | 発行モード: ラベル発行 | ラベルサイズ(dot): 縦(1~1280): 1280 | 横(1~384): 384

印字濃度: 普通 | ハジ時動作: 動作1(ヘッド位置) | 基点補正(dot): 縦(-300~300): 0 | 横(-300~300): 0

用紙種: A | センサー種: 反射式センサー/アイマーク

動作モード: タイオフ | オートパワーオフ時間(0~999): 5 (分)

初期フィード: 無効

文字設定

用紙とラベル (-40~99): 0 | 漢字コード: ソフトJISコード | 設定実行

タイオフ (-99~99): 0 | フォント: 解除 | デフォルト値

ハジ (-40~99): 0 | セロスラッシュ: 無効

PCの通信設定(RS-232C)

[PT200互換モード]
ポート: PT200
パラリティ: NONE
フロー制御: NONE (自動設定時はNONEに設定されます)

自動設定 | テスト印字 | 工場テスト印字

終了

東北理-社 MP2200BT

以下の手順でラベル長、ラベル幅、センサーの測定を行いプリンタのフラッシュ ROM に記録させます。

1. ラベルロールをプリンタに正しくセットします。
2. カバーを開けた状態で再発行 SW を押下します。
3. カバーを閉じます。
4. 測定動作開始前に LED3 が 3 回点滅し、その後測定を開始します。
5. ラベルを 3 枚フィードして、測定が終了します。
6. 測定結果がプリンタのフラッシュ ROM に記録されます。

Blank page